

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		モジラ・アルク かごしま		公表日		R6年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動プログラムによって利用するスペースを分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個室として利用できる部屋を確保しています。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		業務を行う上で気になることが出てきた際は、その都度職員間で情報を共有し解決に導きます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		業務を行う上で気になることが出てきた際は、その都度職員間で情報を共有し解決に導きます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による外部評価は行っていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内での研修計画があります。	事業所内研修の充実を図ります。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			ホームページにて公開（予定）です。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		計画期間ごとにモニタリングを行い、ご本人様やご家族の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日々の様子をスタッフ間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討します。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動のプログラムは、双方のアイデアを取り入れ準備等を分担することで作り上げるよう心掛けています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		月間の活動プログラムを作成する際、5領域に沿った活動計画を組み立てています。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		当日の支援内容や役割分担に関して確認する機会を設け、状況や変化を共有しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌朝の朝礼などでフィードバックを行っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援に関して、職員間で情報を共有し支援記録を作成することによりモニタリング等で活用しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行っています。その際はご家族の皆様と面談を行いました、学校や他の事業所と情報を共有しています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		ガイドラインに沿った内容で社会生活を見据えた支援を行います。		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		日々のプログラムに関して、自由な時間に子どもの意見を取り入れ活動できるよう行っています。		
	関係機関や保	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援責任者若しくは準ずる職員が参加しています。	
		27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		現在医療機関との連携はないですか、学校などの教育機関との連携は図っています。	
		28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校との情報共有に関しては、担任の先生と情報共有を図っています。	
		29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		社会資源の情報共有は現在ありませんが、今後必要になってくるものであります。しっかり対応致します。	
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		他の障害福祉サービス事業所へ移行する場合は、しっかりと情報提供を行います。		

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		7		今後積極的に対応致します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7	時々ではあるが、地域の児童館を利用しています。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		7	鹿児島市の自立支援協議会は有識者のみです。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳での日々の様子をお伝えしています。また、送迎時にもその都度活動や状況をお伝え情報共有を図ります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				今後ご家族の意見を伺いながら、内容を充実させていきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担等の説明を行い、質問等あれば回答しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様から子育ての悩みや相談事がある時は迅速な対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7		父母同士やごきょうだいが参加できるイベントの企画が少ないので、少しずつ内容を充実させていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった場合に迅速に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月活動予定表を配布し、活動の様子をインスタグラムで配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		契約時に確認させて頂いています。	SNS配信時は同意書を確認しながら配信しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個別に意思決定の方法等工夫及び配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		今後は、地域のお祭り等の参加を計画します。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	作成しているが、周知には至っていません。	職員やご家族への更なる周知を図ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		策定及び避難訓練は行いました。	今後も継続して行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		薬等の必要なご家族より、状況を共有し確認しています。	服薬状況に変更があった場合などは、細かな確認を行います。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食物アレルギーに関しては、ご家族からの聞き取りに留まっています。	必要に応じて、医師から指示書を頂くこととします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		研修や訓練は行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	ご家族への周知はできていません。	今後は
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	事例集の作成はできていません。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		重要事項説明書にて説明及び同意を得ています。		